

**北山エリア整備基本計画  
京都府立植物園100周年未来構想  
植物園整備検討に係る有識者懇話会（仮称）  
説明会**

**京 都 府  
大学改革等推進本部事務局**

# 北山エリアの整備について

## 1 北山エリアの概要

賀茂川などの豊かな自然環境の中、府民利用施設等が  
集積する貴重な府民の憩いの空間であり、ここで国内  
外からの人が集い、交流することにより、京都から新  
しい文化・芸術を創造・発信する拠点となる大きな可  
能性を秘めたエリア



京都府立植物園



京都府立陶板名画の庭



京都コンサートホール (京都市)



京都府立大学



京都府立京都学・歴史館

## 2 北山エリアの整備経過

H21.10

### 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告

北山文化環境ゾーン整備推進委員会（座長:白幡洋三郎（国際日本文化研究センター副所長））

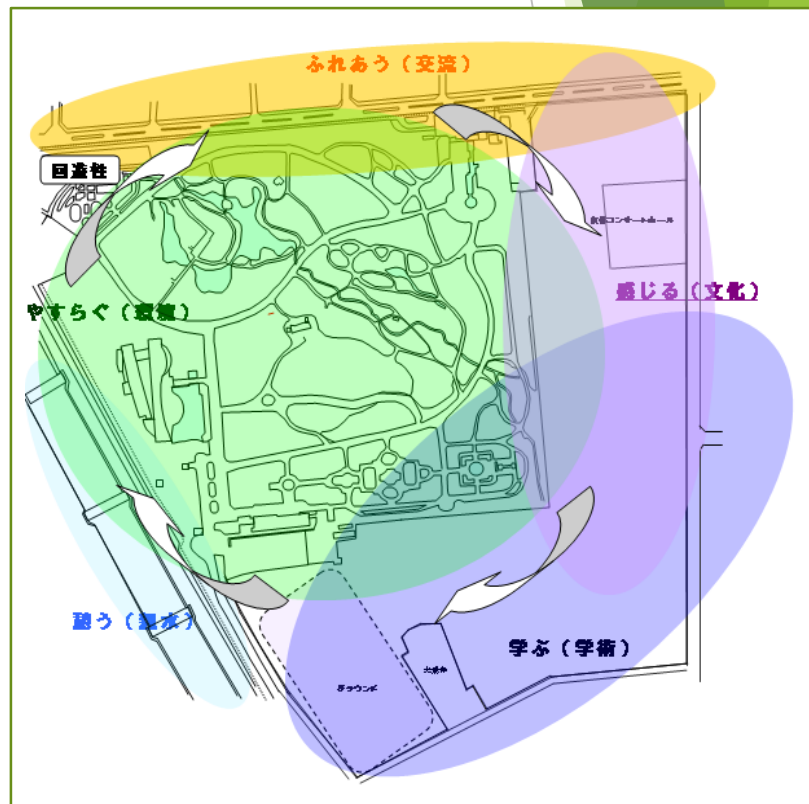
北山地域の街づくりコンセプト、エリアイメージ、エリアの機能、施設整備の方向性等について構想策定

#### ■ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流の中で、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

#### ■ 北山地域のエリアイメージ

- **感じる（文化）** …………… 主として北山通に近い地域  
人々が活発な交わりの中で心を遊ばせる空間
- **学ぶ（学術）** …………… 主として北山通から遠い地域  
人々が知的な刺激の中で思索を深める空間
- **やすらぐ（環境）** …………… 主として植物園地域  
人々が花と緑に抱かれて心を取り戻す空間
- **憩う（親水）** …………… 主として賀茂川沿い地域  
人々が水の流れを前に心を休める空間
- **ふれあう（交流）** …………… 主として北山通沿い地域  
人々がおしゃれな街並みの中でふれあい心弾ませる空間



# 3 整備経過

上記構想に基づき、エリア内の施設整備を順次推進

## 植物園の魅力向上

- 平成22年度から順次整備に着手、園の魅力向上のための施設整備を継続的に推進
  - ・ 森のカフェ (H23)
  - ・ エコ路地 (H24)
  - ・ ボタニカルウィンドウ (H25)
  - ・ 昼夜逆転室・高山植物室 (H25)
  - ・ 賀茂川門 (H25)・北泉門 (H29) の整備 等



植物園 森のカフェ

## 三大学（府立大学、医科大学、京都工芸繊維大学） 教養教育共同化施設の整備

- 建築設計プロポーザル (H22)
- 本体建築工事 (H24～)
- 平成26年6月末完成、後期から新施設で授業実施



教養教育共同化施設

## 京都学・歴彩館の整備

- 建築設計コンペ (H23)
- 本体建築工事(H25～)
- 平成28年7月竣工 (H28.7)、一部オープン(H28.12)、グランドオープン (H29.4)



京都学・歴彩館

## 4 近年の整備検討経過

### H30.8 旧総合資料館跡地活用に伴う北山文化環境ゾーンの施設整備についての検討報告

総合資料館跡地活用等検討委員会（委員長：門内 輝行（大阪芸術大学教授））

- 旧総合資料館の跡地について、地域のポテンシャルを最大限に引き出し、ゾーンの魅力を高めるために求められる機能
  - 舞台芸術系（演劇・舞踊・ダンス等）・視覚芸術系（絵画・写真・工芸・華道・書道等）が集積した、京都の他の施設にはない交流・創造・発表の機能
  - コンベンション、宿泊、飲食等が集積し、魅力的なイベントの開催等、賑わい・交流機能の創出

### H31.2 京都府立植物園100周年未来構想

京都府立植物園100周年未来構想委員会（委員長：築山 崇（京都府立大学学長））

- ワンストップサービス・インフォメーション機能の向上のためのビジターセンター等を備えた複合的な正門エントランスの整備
- 観覧温室の建替や大規模改修等の検討、植物標本庫、常設展示室、図書コーナー等の整備
- ゾーン内の回遊性の向上など、ゾーン内に立地する各施設との垣根をなくした連携

### R元.5 京都府立大学下鴨キャンパス施設整備方針（素案）

### R2.3 京都府立大学将来構想基本計画

- 老朽化・耐震対応などの観点から、体育教育・学生スポーツと併せて市民スポーツ・健康増進事業等も視野にアリーナ機能をもった3大学の共同体育館を整備（ほか）

# 京都府総合計画

## ○京都市域のエリア構想 「北山『文化と憩い』の交流構想」

京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリアの形成

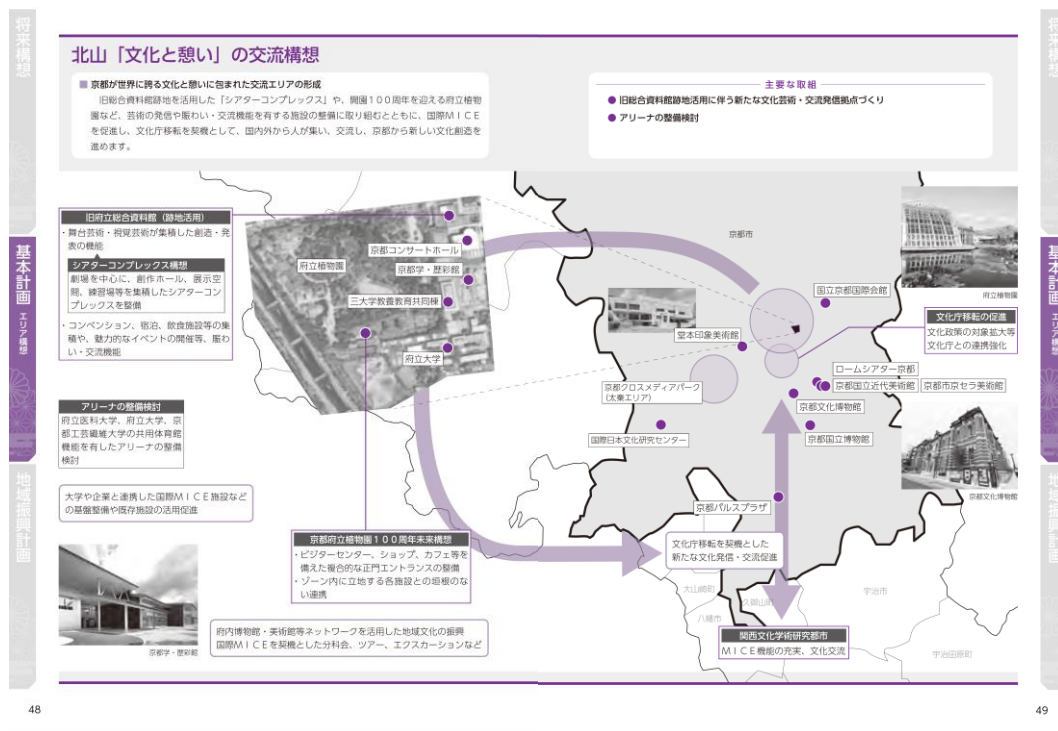
- 舞台芸術・視覚芸術が集積した創造・発表の機能（シアターコンプレックス構想）と賑わい・交流機能
- 府立医科大学、府立大学、京都工芸繊維大学の共用体育館機能を有したアリーナの整備検討
- 植物園にビジターセンター、ショップ、カフェ等を備えた複合的な正門エントランスの整備
- ゾーン内に立地する各施設との垣根のない連携



# 北山エリア整備基本計画

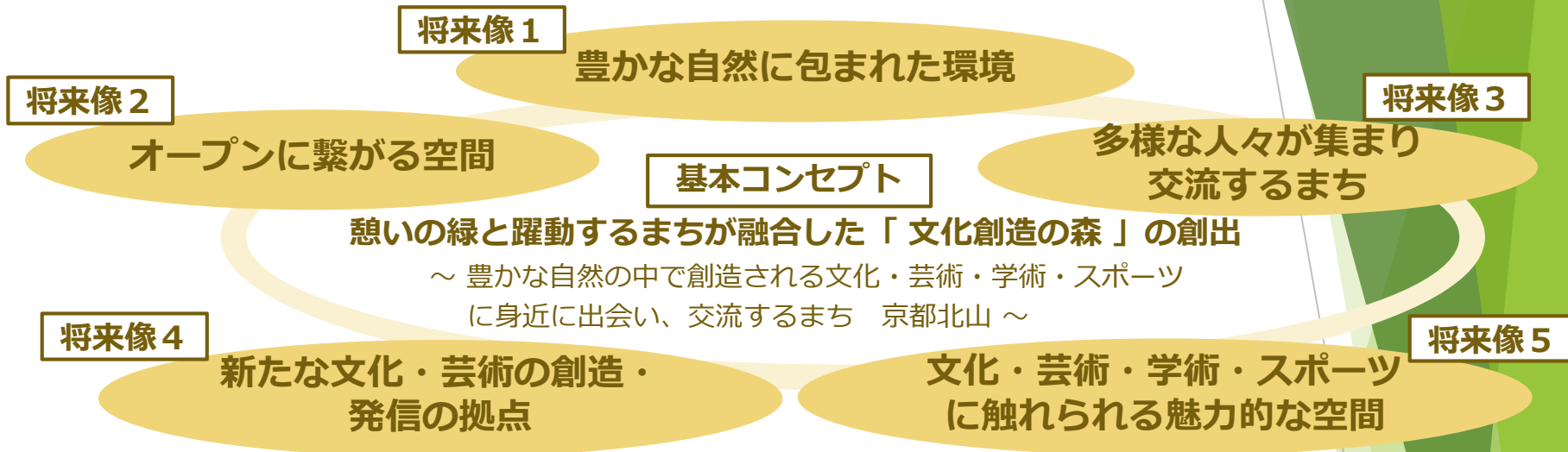
(北山エリア整備基本計画策定に係る専門家委員会)

「北山『文化と憩い』の交流構想」を実現するにあたり、北山エリアの整備の方向性を示すために「北山エリア整備基本計画」取りまとめ



# 北山エリア整備基本計画 <概要>

## ■ 北山エリアの5つの将来像と基本コンセプト



## ■ 将来像を実現するための方策 ①

### 北山エリア整備の方向性

- 植物園の緑がエリア内に広がり、各施設が木々の緑の中に佇む空間の創出
- 施設の枠を越えて人が自由に往来できる空間づくり
- 日常的に人が集い交流できるまちの形成
- 新たに整備する建築物の外観に配慮し、調和の取れた景観形成

## ■ 将来像を実現するための方策 ②

### 各施設の整備の方向性

#### 旧資料館跡地等

- 劇場を中心に創作スペースや練習場、展示空間等が集積した舞台芸術・視覚芸術の創作・発表・鑑賞の拠点施設（シアター・コンプレックス）の整備
- コンベンション、宿泊、飲食施設等、賑わい・交流機能の整備
- 北山エリアのエントランスに相応しい「広場」機能の整備

など

#### 植物園

- 複合的な機能を備えた正門と植物標本庫、展示室等の整備
- 観覧温室の大規模改修又は建替え
- 北山通・賀茂川沿いの半木の道等と連続性を持たせ、人の流れを園内に引き込む施設・動線の整備
- 園の魅力を高めるための弾力的で柔軟な企画運営

など

#### 府立大学

- アリーナ機能を備えた共同体育館の整備
- 教育・研究ゾーン、地域連携ゾーン、スポーツゾーンのゾーニングの設定による大学キャンパスの再編
- 地域等との連携・交流を推進する施設等の検討

など



# ■ 想定される主要施設の整備概要

## ◆ 舞台芸術・視覚芸術拠点施設 想定諸室

機能	主な想定諸室
ホール機能	メインホール（舞台、客席（500～600席）、楽屋、調整室等）、楽屋口、搬入口、荷捌きスペース、倉庫 等
展示機能	展示室（ギャラリー）、ホワイトキューブ 等
創作機能	創作スペース・練習室、作業室 等
交流機能	エントランス、柯仁、コミュニティスペース 等
管理機能	施設管理者事務室、倉庫 等

## ◆ アリーナ機能を備えた共同体育館 想定諸室

機能	主な想定諸室
メインアリーナ	バスケットコート×3面、観客席10,000席程度（可動席・移動席含む）
サブアリーナ	バスケットコート2面、武道場
その他	医務室、キッズルーム・授乳室、放送・音響・調光室、多目的室、トレーニング室、スポーツ・体力測定諸室、エントランスホール・ロビー、クラブボックス 等
管理機能	事務室（施設管理室）、応接室（来賓室）、会議室 等

## ◆ 植物園 正門周辺及び観覧温室再整備 想定諸室

機能	主な想定諸室
来園者サービス機能向上	インフォメーションセンター、ビジターセンター、正門エントランス、大屋根広場（雨天時対策） 等
アミューズメント機能向上	ミュージアムショップ、ボタニカルショップ、カフェ・レストラン、ホール 等
教育・研究機能向上	植物標本庫、常設展示室、図書コーナー、研究室、研修室、多目的室 等
観覧温室建替／改修	観覧温室、機械室、バックヤード 等
管理機能	事務室、会議室、倉庫 等

◆ 賑わい・交流機能の内容（例：飲食、宿泊、コンベンション等）は、民間事業者の提案による

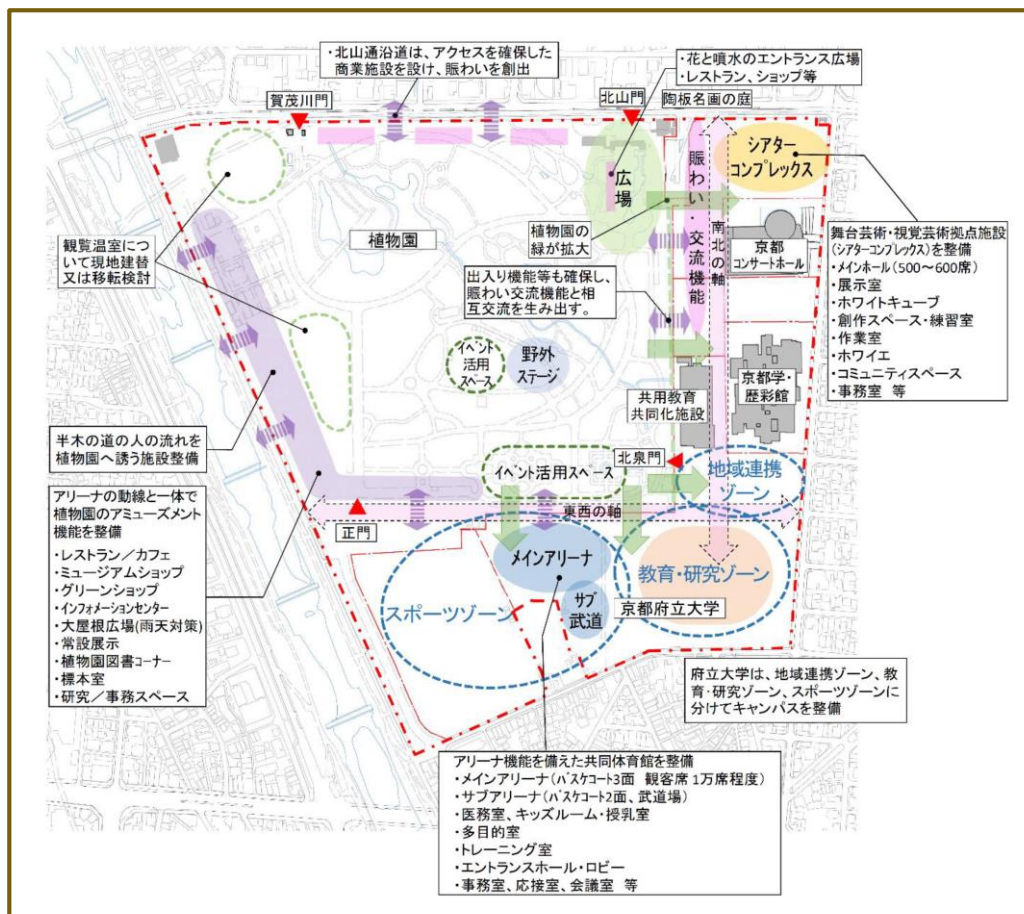
## ■ 整備・運営手法

整備にあたっては、従来の公共工事の手法だけでなく、官民連携手法（PPP）の活用も想定し、各施設の態様に合わせ最適な手法を検討

# 整備の方向性について、最大限の可能性を 計画に盛り込んだコンセプトイメージ

○今後、整備内容の具体化等については、有識者懇話会等で意見を聞きながら検討

※ バックヤードについて、必要な機能・面積を確保し、  
植物園の植生や環境・景観の維持について最大限配慮



# 京都府立植物園100周年未来構想の概要

## 1 策定の趣旨

2024年に開園100周年を迎えることから、「生きた植物の博物館」の理念のもと、府民目線でさらなる魅力創出に向けハード・ソフト両面を見据えた未来構想を策定

## 2 現状と課題

府立植物園『魅力あふれる施設』整備計画（平成21年度策定）により、これまで順次魅力向上・発信のための施設整備を実施。今後、さらなる魅力やサービスの向上・機能強化はもちろんのこと、北山エリアやその周辺地域との幅広い連携と調和を図ることが求められている。

## 3 植物園100周年に向けた取組の方向性

植物園単体ではなく北山エリアの立地施設をはじめ、その周辺地域との連携と調和を考慮しながら、以下の方向で取組を推進

- (1) 植物園のさらなる魅力向上や来園者の利便性・快適性の向上
- (2) 教育・学習・研究及び希少植物保全に向けた機能強化・体制整備
- (3) 来園者サービスの向上に向けた柔軟で弾力的な企画及び管理運営
- (4) 北山エリア全体とのソフト・ハード両面での連携の推進

# 植物園100周年に向けた取組の方向性 主な取組例

## (1) 植物園のさらなる魅力向上や来園者の利便性・快適性の向上

- ◇ビジターセンター、ショップ、カフェ等を備えた複合的な正門エントランスの整備
- ◇観覧温室の建替え・大規模改修等の検討着手（工法・資金調達手法の検討等）
- ◇わかりやすく親しみやすい解説・展示や多言語対応、AR・VR等先端技術を活用した新たな展示企画 など

## (2) 教育・学習・研究及び希少植物保全に向けた機能強化・体制整備

- ◇教育・学習・研究機能の充実・強化を図るための学芸員等の配置
- ◇植物園として不可欠な植物標本庫、常設展示室、図書コーナー等の整備
- ◇課外授業や修学旅行に年間を通じて対応できる教育プログラムの確立 など

## (3) 来園者サービスの向上に向けた柔軟で弾力的な企画及び管理運営

- ◇これまでにない柔軟な発想による来園者サービスの提供
- ◇開園時間の弾力化など、柔軟で弾力的な管理運営
- ◇民間のアイデア・ノウハウの導入による植物園のポテンシャルを活かした行催事の開催 など

## (4) 北山文化環境ゾーン全体とのソフト・ハード両面での連携の推進

- ◇民間のアイデア・ノウハウを活用したエリアマネジメントにより、終日エリア及びその周辺地域で楽しめる仕掛けの構築
- ◇旧総合資料館跡地等を活用した施設整備を見据えた植物園の整備
- ◇エリア内に立地する各施設との垣根をなくした連携 など

# 植物園整備検討に係る有識者懇話会（仮称）の設置について

## 趣 旨

3年後に開園100周年を迎える植物園は、北山エリア総面積の2/3を占め、エリアの中核となる重要な施設であるため、植物園を整備する上で、「植物園100周年未来構想」の具現化など、今後の植物園に求められるハード・ソフトの取組を検討するため、有識者による懇話会を設置

## 委員構成案

国内外の植物園の情勢に精通した植物園の専門家、文化関係、経済・経営関係、まちづくり関係など、関係する専門分野の有識者で構成

## 方 向 性

国内外の植物園の取組も参考に、歴史文化都市 京都に位置する植物園として一層ふさわしいものとなるような施設整備の方向性を議論



**ご静聴ありがとうございました。**